

# 2025年度 活動報告

## 林檎の会

# 2025年度の主な活動（日時、内容等をわかりやすく記載）

- 臨床美術学会 第16回大会2025 11月23日（日） 9:30～12:30  
研究発表（ポスターセッション形式）  
テーマ 「臨床美術と美術教育（美術学習）」  
都立定時制高校・公立（小・中）特別支援学級に於ける時間講師の軌跡  
発表者：林檎の会代表：河本
- 女子美術大学美術教育研究会 令和8年3月25日（水） 10:45～12:45  
杉並キャンパス6203教室  
総会・研修ワークショップ（協力：ターレンスジャパン）・情報交換会
- 被災地支援寄付

# 課題 – 2025年度の活動を通して見えてきた今後の課題

臨床美術士 + 教員免許取得者（美術） → 特別支援学級時間講師（美術・図工）

教員免許（美術）を取得されている臨床美術士（4級以上）の者は、公立小・中学校の特別支援学級時間講師として、十分活動できるとの立証ができたことで、臨床美術士の更なる活動、活躍の場として大いに期待できる。今後はその育成アプローチとしてどのような取り組みで対応できるかが課題である。

# 展望・目標－2026年度の計画

- ◆ 林檎の会メンバーの特別支援学級における「臨床美術×美術学習」のスキルアップ
- ◆ 林檎の会による女子美術大学生（臨床美術専攻）の実践体験学習へのアプローチ
- ◆ 公立小学校特別支援学級（図工）での女子美生による臨床美術学習の実践サポート
  - ・ 杉並区立小学校特別支援学級図工の時間×杉並キャンパス女子美生（教免＋臨床美術専攻）